

健康通信

産婦人科病棟での食事について

看護師長

飴谷 美佐子

当院の産婦人科病棟では、近隣の産婦人科医院やクリニックと連携し、ハイリスクの妊婦さんへの対応もしています。また、小児科医が常駐しておりNICU（新生児集中治療管理室）を有しているので、小さく生まれた赤ちゃんや病気を抱えた赤ちゃんへの対応も可能な病棟です。産婦人科病棟では、分娩の方だけではなく、切迫流産や切迫早産の方も入院していただいています。そんな入院生活の中での関心事のひとつには、食事のこともあるのではないのでしょうか？

妊娠中は、お腹の赤ちゃんのため、バランスの良い食事が必要ですが、食欲がなくなる時期もあります。そのため、妊婦食では、主食・主菜・副菜をバランス良く、見た目も食欲がわくよ

うな工夫をしています。産後は、身体の回復のためや赤ちゃんの栄養である乳汁分泌および、育児に伴う活動量の増加のために、十分な栄養摂取が必要です。しかし、産褥早期には、胃の位置が変化することにより、食欲が減退することもあります。反対に、食欲が亢進し妊娠前の体重に戻らず、肥満につながることもあります。産後の食事は、母体を妊娠前の体へと戻すために、とても大切です。

産後の食事は、母親の食事内容が母乳成分にも影響を与えることがあります。当院の食事は、管理栄養士が専門的な立場から献立を考えています。産後から提供されている当院の産褥食は、通常の病院食とは異なり、妊婦さんに満足いただけるような、十分な栄養

養バランスを損ねるだけでなく、美味しく見た目も食欲が増すような盛り付けを心がけています。入院中に1回、特別メニューとしてお祝い膳を提供しています。また、栄養のバランスを考えた家庭的な食事を楽しんでいただけたらと思っています。

小牧市民病院は、来年5月に新病院が開院します。産婦人科病棟では、LDR（陣痛、分娩、回復期までを同じ場所で過ごせる部屋）が2つできます。今まで以上に、それぞれの妊婦さんに合わせた対応を心がけていきます。



information

お知らせ

市民病院職員募集

◆言語聴覚士

勤務開始日 平成31年4月1日(月)

対象 平成2年4月2日以降に生まれ、平成31年3月言語聴覚士資格取得見込者または言語聴覚士資格取得者

人員 1人

1次試験 1月26日(土)

午前8時30分集合

専門試験、教養試験、適性検査、作文

2次試験 2月下旬に面接

試験会場 小牧市民病院

申込み 1月15日(火)（郵送の場合は1月11日(金)消印有効）までに、採用試験申込書、卒業証明書または卒業見込証明書、資格免許証の写し(資格取得者のみ)を病院総務課(T485・8520 住所不要 ☎76・4131)

※詳しくは募集案内(病院総務課、市民病院ホームページ)に用意をご覧ください。

